



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月2日

上場会社名 日本証券金融株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8511 URL <https://www.jsf.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 櫛田 誠希  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 佐川 洋 TEL 03-3666-3184  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,682	23.3	3,068	72.0	3,364	53.0	2,453	18.9
2023年3月期第1四半期	11,092	49.8	1,783	△21.4	2,199	△10.8	2,063	16.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,825百万円 (794.8%) 2023年3月期第1四半期 539百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	28.46	ー
2023年3月期第1四半期	23.10	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,981,306	139,243	1.0
2023年3月期	14,056,217	135,728	1.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 139,243百万円 2023年3月期 135,728百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	16.00	ー	16.00	32.00
2024年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2024年3月期（予想）	ー	17.00	ー	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績試算値（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	32.2	9,400	23.7	6,700	12.3	77.65

(注) 直近に公表されている業績試算値からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、添付資料「1. (3) 今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	88,000,000株	2023年3月期	96,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,676,916株	2023年3月期	9,803,815株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	86,203,358株	2023年3月期1Q	89,320,621株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループの主たる事業である証券金融業の業績が、株式市況・金利等の動向により大きく影響を受けるため、業績予想の開示を行っておりません。これに代えて、当社グループの業態に適した開示を行うことを目的に、貸借取引残高等の前提条件のもと算出した試算値を掲載することとしております。

なお、業績につきましては、四半期毎に合理的な見積もりが可能となった時点で速やかに開示しております。詳細は添付資料「1. (3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 今後の見通し .....	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）当期の経営成績の概況

#### （金融経済環境）

当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年6月30日）の経済環境は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が撤廃され経済活動の正常化が進み、持ち直しの動きが続いたものの、物価上昇や欧米各国の金融引き締め政策の影響による景気不振リスクなど先行き不透明な状況が続いております。

株式市場についてみますと、期初28,188円で始まった日経平均株価（終値）は、景気減速懸念による米株安につれて4月6日に当期間の最安値となる27,472円まで下落したものの、その後は日銀の金融緩和政策継続に対する安心感と資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた上場企業の各種取組みへの期待感などから買いが優勢となって上昇基調で推移し、6月16日には当期間の最高値となる33,706円を付け、6月末は33,189円で取引を終えました。

この期間における東京市場等（東証、名証およびPTS）の制度信用取引買い残高をみますと、期初2兆1,700億円台から株価の上昇につれて漸減し、5月19日には当期間のボトムとなる1兆9,600億円台まで減少しましたが、その後は株価の先高期待から増加傾向となり、6月末には2兆1,800億円台となりました。一方、制度信用取引売り残高は、期初5,300億円台から増加基調で推移し、5月19日には当期間のピークとなる7,800億円台まで増加し、6月末は7,300億円台となりました。

#### （2024年3月期第1四半期決算）

このような市場環境の下、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、貸借取引残高が融資、貸株ともに増加したこと、また債券レポ・現先取引および株券レポ取引を中心にセキュリティ・ファイナンス業務が前期に引き続き好調であったことなどから、連結営業収益は13,682百万円（前年同期比23.3%増）、連結営業利益は3,068百万円（同72.0%増）、連結経常利益は3,364百万円（同53.0%増）といずれも増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に計上した退職金制度変更に伴う特別利益が剥落しましたが2,453百万円（同18.9%増）と増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの営業概況は以下のとおりです。

#### ○証券金融業

証券金融業務における営業収益は12,795百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

業務別の営業収益をみますと、貸借取引業務における営業収益は4,687百万円（同216.7%増）となりました。貸借取引融資残高が期中平均で2,798億円と前年同期比313億円増加、同貸株残高が期中平均で3,012億円と前年同期比1,451億円増加したことにより、貸付金利息、貸株料ともに増収となりました。

セキュリティ・ファイナンス業務における営業収益は6,630百万円（同37.7%増）となりました。

このうち、債券レポ・現先取引（5,737百万円、同39.7%増）は日銀の金融緩和政策を背景に引き続き国債需給が逼迫したことから取引ニーズが旺盛となり増収となりました。金融商品取引業者向けの資金貸付（422百万円、同14.3%増）は株券レポ取引が好調であったことにより増収となりました。一般貸株（266百万円、同51.5%増）および一般信用ファイナンス（58百万円、同85.4%増）は株式市況の活況を受けて残高が増加したことにより増収となりました。リテール向け貸付（146百万円、同13.0%増）は株式市況が活況であったことに加え、商品性の改善が奏功して残高が増加したことにより増収となりました。

その他の収益は1,477百万円（同61.9%減）となりました。貸借取引をはじめとするセキュリティ・ファイナンス業務のための流動性の確保と収益基盤の強化の観点から行っている有価証券運用業務において、前期に実施したポートフォリオの入替に伴う保有国債等の売却益が剥落したことにより減収となりましたが、あわせて保有外国債の売却損も剥落したため営業費用も減少しております。

#### ○信託銀行業

信託銀行業務における営業収益は683百万円（同3.8%減）となりました。管理型信託サービスなどの信託報酬が引き続き好調なもの、資金運用における金利収入が減少しました。

#### ○不動産賃貸業

不動産賃貸業務における営業収益は203百万円（同2.4%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産、負債および純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末（2023年6月30日）の資産合計額は、13兆9,813億円（前連結会計年度末比749億円減）、負債合計額は13兆8,420億円（同784億円減）、純資産合計額は1,392億円（同35億円増）となりました。

この主な要因は以下のとおりです。

## ○資産

現金及び預金…日銀当座預金への預け金の減少により、前連結会計年度末に比べて6,203億円減少しました。

営業貸付金…一般信用ファイナンスの期末残高の減少などにより、前連結会計年度末に比べて556億円減少しました。

買現先勘定…債券現先取引の増加により、前連結会計年度末に比べて2,722億円増加しました。

借入有価証券代り金…債券レポ取引の増加により、前連結会計年度末に比べて2,783億円増加しました。

## ○負債

コールマネーおよびコマーシャル・ペーパー…資産サイドの貸付金等の変動に合わせ機動的な資金調達を行った結果、前連結会計年度末に比べてそれぞれ1兆742億円の減少、361億円の増加となりました。

売現先勘定…債券現先取引の増加により、前連結会計年度末に比べて1兆4,368億円増加しました。

貸付有価証券代り金…債券レポ取引の減少により、前連結会計年度末に比べて7,096億円減少しました。

信託勘定借…日証金信託銀行の信託勘定における待機資金の増加に伴い、前連結会計年度末に比べて3,162億円増加しました。

## ○純資産

株主資本…四半期純利益の計上による増加と剰余金の配当による減少により、前連結会計年度末に比べて11億円増加しました。なお、自己株式の消却により資本準備金および控除項目（△）である自己株式がいずれも65億円減少しましたが、合計への影響はありません。

その他の包括利益累計額…保有する有価証券等の価格変動に伴い繰延ヘッジ損益が悪化した一方、その他有価証券評価差額金が増加した結果、前連結会計年度末に比べて23億円増加しました。

[参考]

## 当社グループ業務別営業収益の状況

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		前連結会計年度(通期) (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
証券金融業	10,174	91.7	12,795	93.5	38,594	90.8
貸借取引業務	1,480	13.3	4,687	34.3	8,003	18.8
貸借取引貸付金利息	393	3.5	442	3.2	1,619	3.8
借入有価証券代り金利息	103	0.9	264	1.9	565	1.3
有価証券貸付料(品貸料)	757	6.8	3,565	26.1	4,711	11.1
有価証券貸付料(貸株料)	167	1.5	318	2.3	808	1.9
セキュリティ・ファイナンス 業務	4,814	43.4	6,630	48.5	21,952	51.6
一般信用ファイナンス	31	0.3	58	0.4	149	0.4
金融商品取引業者向け	369	3.3	422	3.1	1,529	3.6
リテール向け	129	1.2	146	1.1	544	1.3
一般貸株	175	1.6	266	1.9	799	1.9
債券レポ・現先取引	4,107	37.0	5,737	41.9	18,929	44.5
その他	3,880	35.0	1,477	10.8	8,638	20.3
信託銀行業	710	6.4	683	5.0	3,115	7.3
貸付金利息	10	0.1	10	0.1	32	0.1
信託報酬	324	2.9	364	2.7	1,347	3.2
その他	375	3.4	308	2.3	1,734	4.1
不動産賃貸業	208	1.9	203	1.5	808	1.9
合計	11,092	100.0	13,682	100.0	42,518	100.0

## 当社グループ業務別取引残高の状況（平均残高）

	前第1四半期連結累計期間 （自2022年4月1日 至2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自2023年4月1日 至2023年6月30日）	前連結会計年度（通期） （自2022年4月1日 至2023年3月31日）
	(億円)	(億円)	(億円)
貸借取引貸付金（融資）	2,485	2,798	2,547
貸借取引貸付有価証券（貸株）	1,561	3,012	1,889
セキュリティ・ファイナンス	113,185	115,409	114,739
一般信用ファイナンス	182	330	188
金融商品取引業者向け	6,826	7,963	6,977
リテール向け	155	185	167
一般貸株	362	1,256	633
債券レポ・現先取引	105,657	105,673	106,772
信託銀行貸付金	5,521	5,031	5,399

## (3) 今後の見通し

当社グループの主たる事業である証券金融業の業績が、株式市況・金利等の動向により大きく影響を受けるため、業績予想の開示を行っておりません。これに代えて、当社グループの業態に適した開示を行うことを目的に、貸借取引残高等の前提条件のもと算出した試算値を掲載することとしております。

当第1四半期累計期間の貸借取引業務およびセキュリティ・ファイナス業務が、想定を上回る水準で推移していることから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を、前回（2023年5月）公表の試算値から、上方に変更いたしました。

## &lt;試算値等&gt;

(注) 連結業績試算値等の当四半期における修正の有無：有

[連結業績の試算値]

(通期)

	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表試算値 (A)	7,500	8,500	6,100	72.15
今回発表試算値 (B)	8,400	9,400	6,700	77.65
増減額 (B-A)	900	900	600	
増減率 (%)	12.0	10.6	9.8	

(参考) 前期実績 (C)	6,354	7,601	5,966	67.76
増減額 (B-C)	2,045	1,798	733	
増減率 (%)	32.2	23.7	12.3	

[試算値の前提とした貸借取引業務に係る残高]

貸借取引平均残高：貸付金 2,600億円（±0億円）、貸付有価証券 2,300億円（+200億円）

貸借取引金利等：融資金利 年 0.6%、貸株等代り金金利 年 0%、貸株料 年 0.4%

※（ ）内は前回発表試算値における前提残高との比較



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,598,274	977,883
コールローン	—	13,000
有価証券	71,013	127,255
営業貸付金	955,550	899,856
買現先勘定	3,561,406	3,833,638
借入有価証券代り金	6,669,821	6,948,217
その他	405,951	416,125
貸倒引当金	△165	△174
流動資産合計	13,261,853	13,215,801
固定資産		
有形固定資産	5,997	5,946
無形固定資産	916	846
投資その他の資産		
投資有価証券	745,621	719,733
固定化営業債権	81	78
退職給付に係る資産	1,180	1,223
その他	40,648	37,754
貸倒引当金	△81	△78
投資その他の資産合計	787,450	758,711
固定資産合計	794,364	765,504
資産合計	14,056,217	13,981,306
<b>負債の部</b>		
流動負債		
コールマネー	2,190,400	1,116,200
短期借入金	92,010	82,010
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
コマーシャル・ペーパー	451,000	487,145
売現先勘定	4,781,801	6,218,698
貸付有価証券代り金	5,073,776	4,364,092
未払法人税等	750	409
賞与引当金	495	244
役員賞与引当金	107	—
信託勘定借	871,335	1,187,608
その他	219,774	144,436
流動負債合計	13,682,448	13,601,845

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	232,700	232,700
繰延税金負債	2,196	3,393
再評価に係る繰延税金負債	74	74
役員株式給付引当金	240	186
退職給付に係る負債	217	227
資産除去債務	56	56
デリバティブ債務	2,013	3,020
その他	542	557
固定負債合計	238,040	240,216
<b>負債合計</b>	<b>13,920,489</b>	<b>13,842,062</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	8,878	5,181
利益剰余金	118,702	116,934
自己株式	△7,655	△1,045
株主資本合計	129,925	131,070
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	△4,300	2,270
繰延ヘッジ損益	9,782	5,587
土地再評価差額金	168	168
退職給付に係る調整累計額	152	147
その他の包括利益累計額合計	5,802	8,173
<b>純資産合計</b>	<b>135,728</b>	<b>139,243</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>14,056,217</b>	<b>13,981,306</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収益		
貸付金利息	601	698
買現先利息	2,227	3,230
借入有価証券代り金利息	611	774
有価証券貸付料	2,548	6,199
その他	5,104	2,779
営業収益合計	11,092	13,682
営業費用		
支払利息	204	248
売現先利息	1,419	1,564
有価証券借入料	2,515	6,441
その他	3,392	448
営業費用合計	7,530	8,703
営業総利益	3,562	4,978
一般管理費	1,778	1,910
営業利益	1,783	3,068
営業外収益		
受取利息	71	60
受取配当金	118	143
持分法による投資利益	49	76
投資事業組合運用益	144	9
その他	31	7
営業外収益合計	415	296
営業外費用		
投資事業組合運用損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	2,199	3,364
特別利益		
退職給付制度改定益	671	—
特別利益合計	671	—
税金等調整前四半期純利益	2,870	3,364
法人税、住民税及び事業税	421	765
法人税等調整額	385	145
法人税等合計	807	911
四半期純利益	2,063	2,453
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,063	2,453

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
四半期純利益	2,063	2,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,958	6,552
繰延ヘッジ損益	8,445	△4,195
退職給付に係る調整額	△7	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	18
その他の包括利益合計	△1,524	2,371
四半期包括利益	539	4,825
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	539	4,825
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年3月20日開催の取締役会決議に基づき、2023年4月20日付で、自己株式8,000,000株を消却したことにより、資本剰余金が6,532百万円、自己株式が6,532百万円それぞれ減少しました。

また、2023年5月9日開催の取締役会決議に基づき、日証金従業員持株会に対し2023年6月30日を払込期日として第三者割当により自己株式48,600株を処分したことにより、資本剰余金が9百万円増加し、自己株式が39百万円減少しました。

これらの結果等により、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,181百万円、利益剰余金が116,934百万円、自己株式が1,045百万円となっております。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	証券金融業	信託銀行業	不動産賃貸業	合計
営業収益				
外部顧客への営業収益	10,174	710	208	11,092
セグメント間の内部営業収益又は振替高	10	66	96	172
計	10,184	776	304	11,265
セグメント利益（経常利益）	3,573	391	172	4,137

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,137
セグメント間取引消去	△1,987
持分法投資利益	49
その他の調整額	—
四半期連結損益計算書の経常利益	2,199

## II 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	証券金融業	信託銀行業	不動産賃貸業	合計
営業収益				
外部顧客への営業収益	12,795	683	203	13,682
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6	39	97	142
計	12,801	722	300	13,824
セグメント利益（経常利益）	4,259	414	193	4,867

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,867
セグメント間取引消去	△1,578
持分法投資利益	76
その他の調整額	—
四半期連結損益計算書の経常利益	3,364

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。